

転移性脳腫瘍に対する全脳照射例の予後の検討

1. 研究の対象

2018年1月1日から2024年12月31日までの期間に当院で全脳照射を行った転移性脳腫瘍の方

2. 研究目的・方法

転移性脳腫瘍は分子標的薬及び定位放射線治療により予後が改善してきています。全脳照射は晩期合併症として認知機能低下が危惧されるため早期には選択しない動向が広がりつつあります。一方、多発脳転移や髄膜癌腫症では全脳照射は絶対的適応です。当院での全脳照射例の予後を把握することで全脳照射の適切な施行時期と認知機能低下がもたらす影響について検討します。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤や放射線治療の治療歴、日常生活動作度、認知機能、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：五十川 瑞穂

新潟県立がんセンター新潟病院 脳神経外科

当院研究責任者：五十川 瑞穂

連絡先：新潟市中央区川岸町 2-15-3

TEL：025-266-5111（大代表）